

# 島根県の経済動向

平成22年 8月30日

政策企画局統計調査課

平成22年6月分

先月からの主要変更点

	6月分	5月分
総括判断	<p>本県経済は、全体としては厳しい状況が続いているが、一部で持ち直しつつある。</p> <p>生産活動は持ち直しの動きが鈍化しているが、個人消費は一部に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は厳しい状況のなか持ち直しの動きがみられる。投資動向は基調としては弱い動きが続いている。</p>	<p>本県経済は、全体としては厳しい状況が続いているが、一部で持ち直しつつある。</p> <p>生産活動は持ち直しの動きが続いており、個人消費は一部に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は厳しい状況のなか持ち直しの動きがみられる。投資動向は基調としては弱い動きが続いている。</p>
個別項目	「生産活動」 持ち直しの動きが <u>鈍化</u>	「生産活動」 持ち直しの動き

(注) 下線部は、先月から変更した部分。

# 島根県の経済動向

平成22年6月分

平成22年8月30日  
政策企画局統計調査課

一本県経済は、全体としては厳しい状況が続いているが、  
一部で持ち直しつつある。

生産活動は持ち直しの動きが鈍化しているが、個人消費は一部に持ち直しの動きがみられ、雇用情勢は厳しい状況のなか持ち直しの動きがみられる。投資動向は基調としては弱い動きが続いている。

生産活動	⇒	～持ち直しの動きが鈍化～	鉱工業生産指数（季節調整済指数）は97.3となり、前年同月比は28.1%と8か月連続で前年を上回った。また、大口電力需要実績も23.2%と7か月連続で前年を上回った。しかし、いずれもこのところ上昇幅は縮小傾向にあり、生産活動は、持ち直しの動きが鈍化している。
雇用情勢	⇒	～厳しい状況のなか持ち直しの動き～	有効求人倍率は0.68倍と低い水準で推移しているが、新規求人数は4.2%と2か月連続で前年を上回った。所得面では、現金給与総額は6か月連続、所定外労働時間（製造業）は7か月連続でそれぞれ前年を上回った。雇用情勢は、厳しい状況のなか持ち直しの動きがみられる。
個人消費	⇒	～一部に持ち直しの動き～	大型小売店販売額は▲2.1%と18か月連続で前年を下回った。家電量販店販売額は▲2.6%と2か月連続でマイナスとなったが、乗用車新車登録台数は11.1%と11か月連続で前年を上回った。個人消費は、一部に持ち直しの動きがみられるが、政策効果はやや落ちてきた。
投資動向	⇒	～基調としては弱い動き～	公共工事請負金額は49.3%で2か月連続、建築着工床面積（非居住用）は241.9%と2か月振りに前年を上回ったが、新設住宅着工戸数は▲26.0%と2か月連続で前年を下回り、投資動向は、基調としては弱い動きが続いている。
企業倒産	⇒	～倒産件数5件～	企業倒産件数は5件。うち建設業は3件、製造業は0件。
金融情勢	⇒	～貸出金残高は対前年0.2%減～	銀行預金残高は24か月連続で前年を上回った。銀行貸出金残高は2か月連続で前年を下回った。
物 価	⇒	～対前年0.4%下落～	消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数）は100.2となり、対前年同月比▲0.4%と16か月連続の下落となった。
その他 (参考)	島根県景気動向指数（CI） （平成22年8月30日公表）		CI先行指数は99.0となり、2か月連続の下降となった。 CI一致指数は110.9となり、4か月連続の上昇となった。
	法人企業景気予測調査結果 （平成22年6月14日公表）		財務省松江財務事務所の景況判断BSIは、現状（22年4～6月期）は▲8.6%ポイントと前期に比べ「下降」超幅が縮小している。 先行きについては、翌期（7～9月期）に「上昇」超に転じ、翌々期（10～12月期）も「上昇」超で推移する見通しとなっている。

経 済 指 標		前年同月比（*を除く）%					
		1月	2月	3月	4月	5月	6月
生産活動	* 鉱工業生産指数（季節調整済指数）	94.9	94.9	96.3	95.3	100.5	97.3
	（原指数）	23.1	35.4	41.8	29.3	32.7	28.1
	大口電力需要実績	28.5	39.6	46.2	23.8	26.7	23.2
雇用情勢	* 有効求人倍率（倍）	0.65	0.67	0.65	0.65	0.63	0.68
	新規求人数	4.4	▲2.4	11.3	▲1.6	4.0	4.2
	常用労働者数	▲0.5	0.1	0.8	0.7	1.1	0.7
	現金給与総額	2.0	3.9	5.0	4.7	6.8	9.5
	きまって支給する給与	4.6	4.0	4.0	4.2	3.4	2.9
	所定外労働時間（製造業）	115.8	128.6	117.0	78.8	55.8	62.6
個人消費	大型小売店販売額	▲6.2	▲2.4	▲4.1	▲2.6	▲2.1	▲2.1
	ホームセンター販売額	1.4	▲5.3	▲6.6	▲5.7	▲4.5	▲1.5
	家電量販店販売額	14.2	9.6	15.0	10.0	▲3.4	▲2.6
	乗用車新車登録台数	22.2	16.2	13.1	20.6	27.8	11.1
	出雲空港利用者数	▲0.6	3.0	▲6.0	4.7	3.8	2.9
投資動向	建築着工床面積（非居住用）	▲45.4	▲76.0	▲58.6	140.0	▲70.1	241.9
	公共工事請負金額	▲46.8	▲51.3	▲49.2	▲20.1	5.8	49.3
	新設住宅着工戸数	39.3	▲2.2	▲59.5	74.8	▲28.1	▲26.0
企業倒産	* 企業倒産件数（件）	2	5	6	4	5	5
	* 負債総額（百万円）	271	7,997	446	2,429	858	707
金融情勢	銀行預金残高	2.6	3.5	5.3	3.6	4.6	5.1
	銀行貸出金残高	▲0.4	▲0.8	1.2	0.6	▲0.0	▲0.2
物 価	* 消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）	100.5	100.3	100.4	100.1	100.3	100.2
その他	* 景気動向指数（CI先行指数）	120.6	120.7	119.4	122.5	108.6	99.0
	* 景気動向指数（CI一致指数）	95.5	94.2	96.8	99.0	109.5	110.9

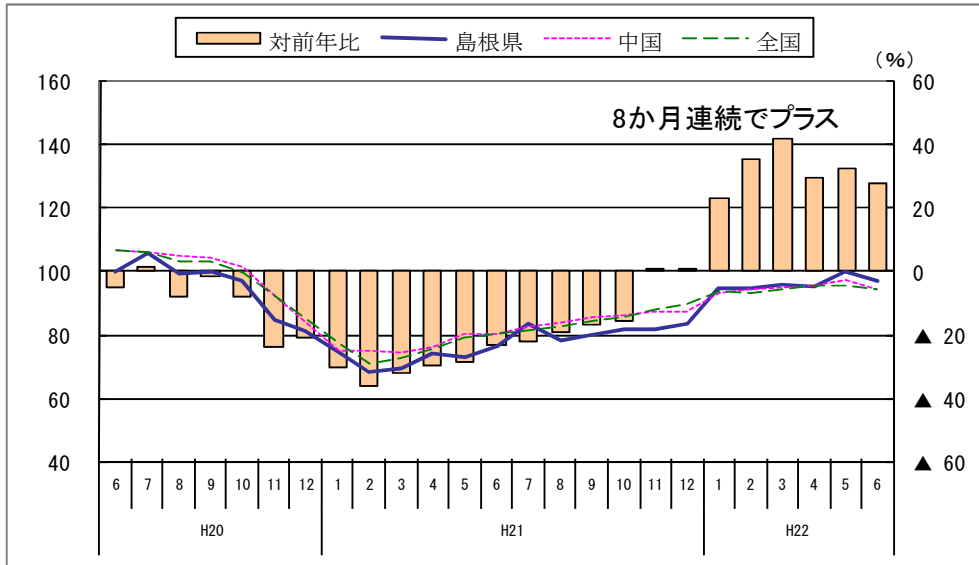
## 経済動向に関する他機関の公表資料（抜粋）

全 国	「月例経済報告（内閣府）」 平成22年8月10日
	<p>景気は、着実に持ち直してきており、自律的回復への基盤が整いつつあるが、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸出は、緩やかに増加している。生産は、緩やかに持ち直している。</li> <li>・ 企業収益は、改善している。設備投資は、下げ止まっている。</li> <li>・ 企業の業況判断は、改善している。ただし、中小企業を中心に先行きに慎重な見方となっている。</li> <li>・ 雇用情勢は、依然として厳しいものの、このところ持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・ 個人消費は、持ち直している。</li> <li>・ 物価の動向を総合してみると、緩やかなデフレ状況にある。</li> </ul> <p>先行きについては、当面、雇用情勢に厳しさが残るものの、海外経済の改善や各種の政策効果などを背景に、企業収益の改善が続くなかで、景気が自律的な回復へ向かうことが期待される。一方、アメリカ・欧州を中心とした海外景気の下振れ懸念、金融資本市場の変動やデフレの影響など、景気を下押しするリスクが存在することに留意する必要がある。また、雇用情勢の悪化懸念が依然残っていることにも注意が必要である。</p>
中 国 地 方	「中国地域の経済動向（中国経済産業局）」 平成22年8月20日
	<p>中国地域の景気は、雇用には厳しい状況が残っているものの、景況感や生産は持ち直し基調で推移しており、設備投資は持ち直しの兆しがみられ、個人消費は緩やかながら持ち直しの動きとなるなど、総じてみると、持ち直しの動きが続いています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生産動向…緩やかな持ち直し</li> <li>2. 景況感…持ち直しの動き</li> <li>3. 産業用電力需要…緩やかな持ち直し</li> <li>4. 物価…消費者物価指数は下落傾向</li> <li>5. 個人消費…緩やかながら持ち直しの動き</li> <li>7. 建設動向…公共工事は減少、住宅建設は低調</li> <li>6. 設備投資…持ち直しの兆し</li> <li>8. 雇用動向…厳しい状況ながら持ち直しの動き</li> <li>9. 企業倒産…減少傾向</li> <li>10. 貿易…持ち直しの動き</li> </ol>
山 陰 地 方	「山陰の金融経済動向（日本銀行松江支店）」 2010年7月30日
	<p>山陰両県の景気は、緩やかに回復しつつある。すなわち、生産は、電気機械が既往ピークの水準を更新するなど、増加している。また、設備投資は持ち直しつつある。雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にあるが、その厳しさは幾分和らいできている。こうした中、個人消費も政策効果や天候要因もあって、緩やかに持ち直している。また、公共投資が一時的に増加しているほか、住宅投資も持家を中心に下げ止まりの動きがみられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生産は、電気機械が既往ピークの水準を更新するなど、増加している。</li> <li>・ 個人消費は、政策効果や天候要因もあって、緩やかに持ち直している。</li> <li>・ 設備投資は、持ち直しつつある。</li> <li>・ 公共投資は、一時的に増加している。</li> <li>・ 住宅投資は、持家を中心に下げ止まりの動きがみられる。</li> <li>・ 雇用・所得情勢は、引き続き厳しい状況にあるが、その厳しさは幾分和らいできている。</li> </ul>
	「山陰経済動向（山陰経済経営研究所）」 2010年7月26日
	<p>当地の景気は、住宅建設や雇用情勢などで厳しい状況が続くものの、生産は持ち直し、設備投資は回復の兆しがうかがえ、また、企業の業況判断（全産業）は足元改善しており、総じて横ばい圏内の動きとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共投資は、足元では増加傾向となっている。</li> <li>・ 設備投資は、全産業でも前年度を上回る計画（日銀短観6月）。</li> <li>・ 住宅建設は、水準も低く、依然低調に推移している。</li> <li>・ 個人消費は、低調な推移ながら、一部に持ち直しの動きがみられる。</li> <li>・ 生産は、緩やかに持ち直している。</li> <li>・ 雇用情勢は、総じて厳しい状況が続いている。</li> <li>・ 企業の業況判断は、足元、製造業、非製造業ともに改善し、全産業でも改善（▲23→▲15）。先行き（10年9月）については、製造業、非製造業ともに悪化を予想しており、全産業でも悪化（▲15→▲27）の見通し（日銀短観6月）。</li> </ul>
島 根 県	「島根県の経済情勢（財務省松江財務事務所）」 平成22年7月26日（四半期ごとに公表）
	<p>県内経済は、厳しい状況にあるものの、緩やかな持ち直しの動きがみられる。雇用情勢は厳しい状況が続いているものの、個人消費で緩やかな持ち直しの動きがみられ、生産活動も持ち直している。また、設備投資は増加見通しとなっているほか、企業収益も増益見通しとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人消費 緩やかな持ち直しの動きがみられる</li> <li>・ 生産活動 持ち直している</li> <li>・ 雇用情勢 厳しい状況が続いている</li> <li>・ 公共事業 前年度を上回っている</li> <li>・ 設備投資 22年度は増加見通し</li> <li>・ 企業収益 22年度は増益見通し</li> </ul>

# 経済指標の推移

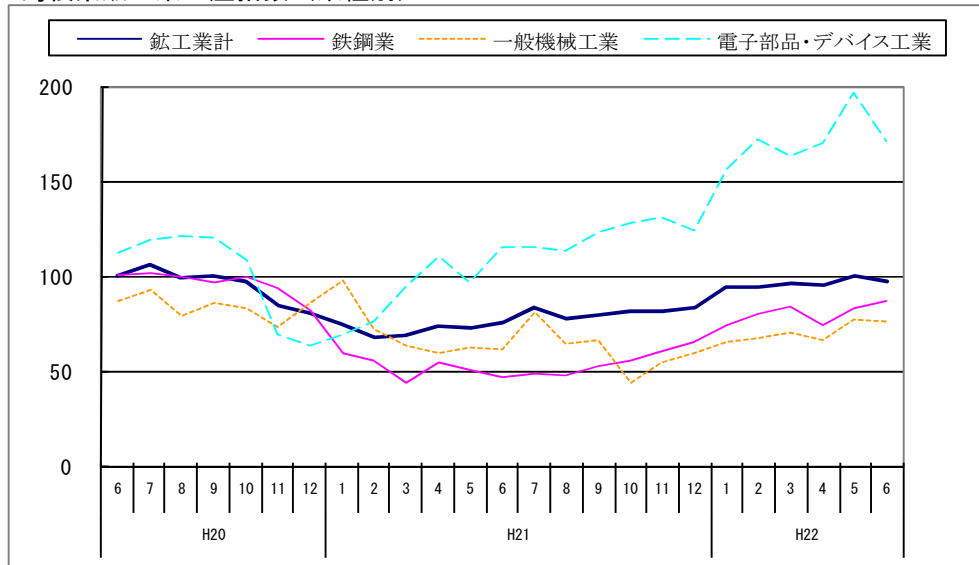
## 【 生産活動 】 ～持ち直しの動きが鈍化～

鋳工業生産指数（季節調整済 平成17年=100）



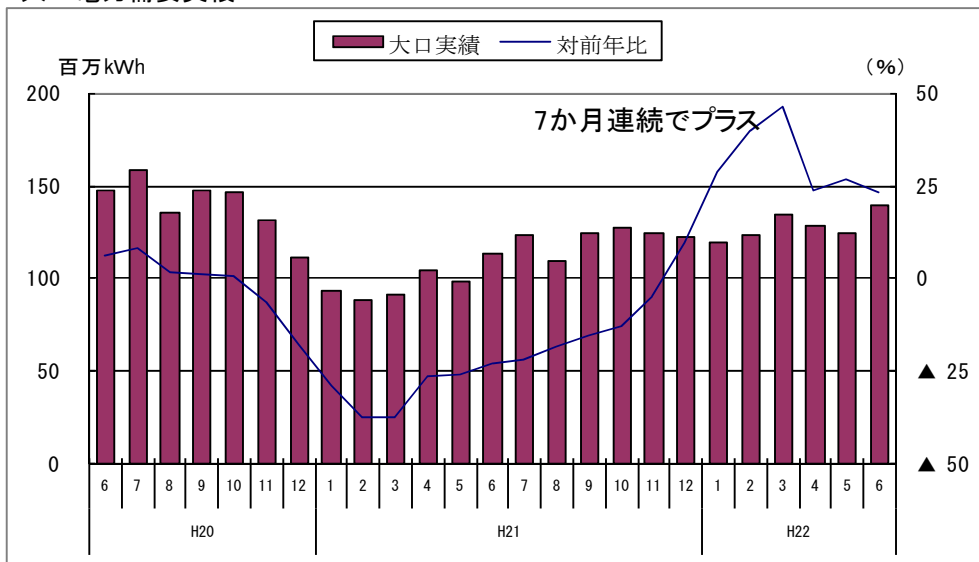
（注）対前年比は、島根県の実指数（県統計調査課、経済産業省）

島根県鋳工業生産指数（業種別）



（県統計調査課）

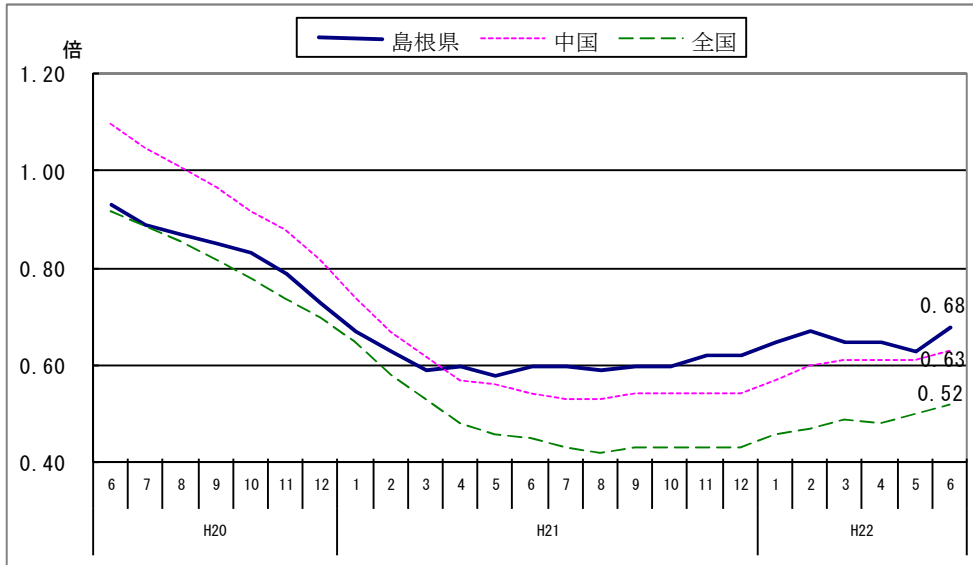
大口電力需要実績



（中国電力株）

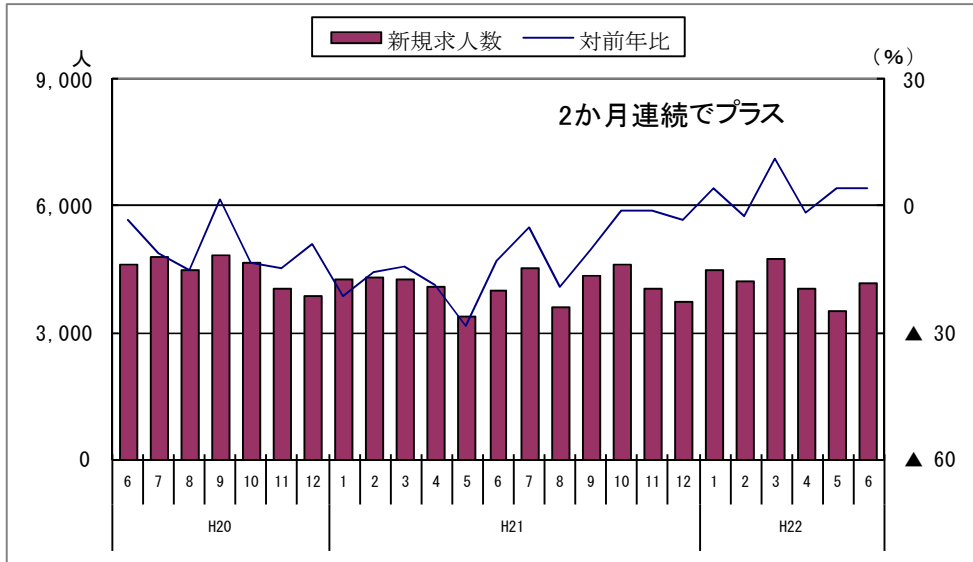
【雇用情勢】 ～厳しい状況のなか持ち直しの動き～

有効求人倍率（学卒を除き、パートを含む）



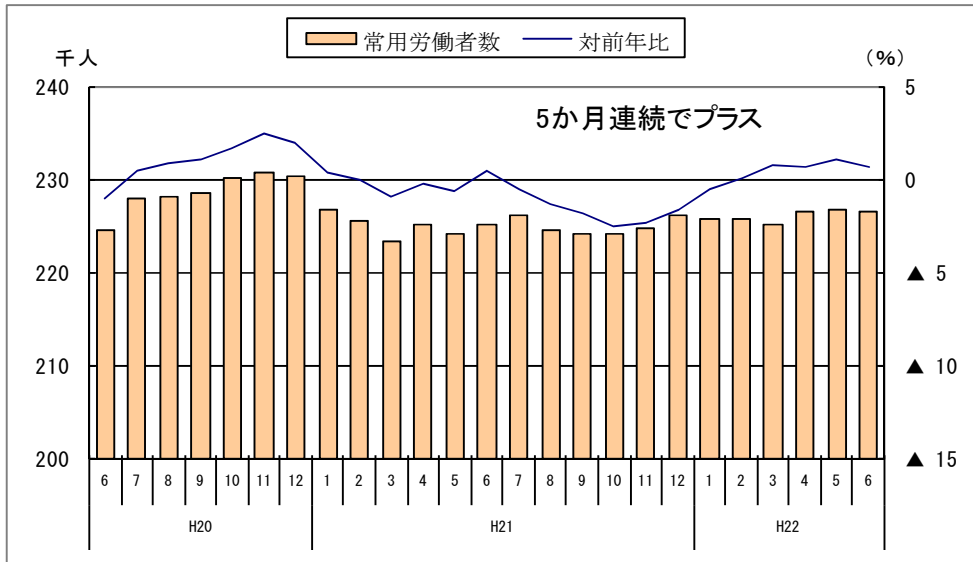
(厚生労働省)

新規求人数



(島根労働局)

常用労働者数（5人以上・調査産業計）

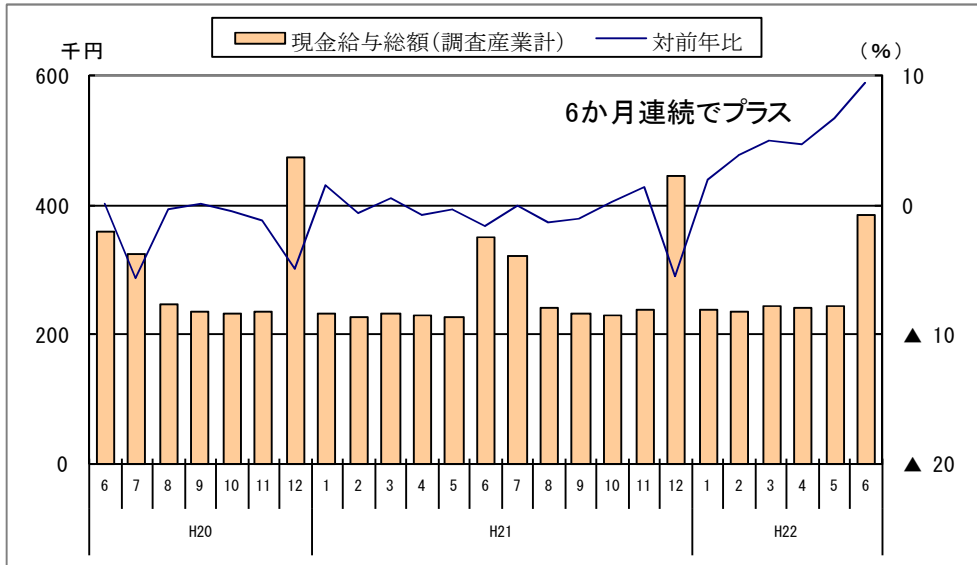


(県統計調査課)

## 【雇用情勢】

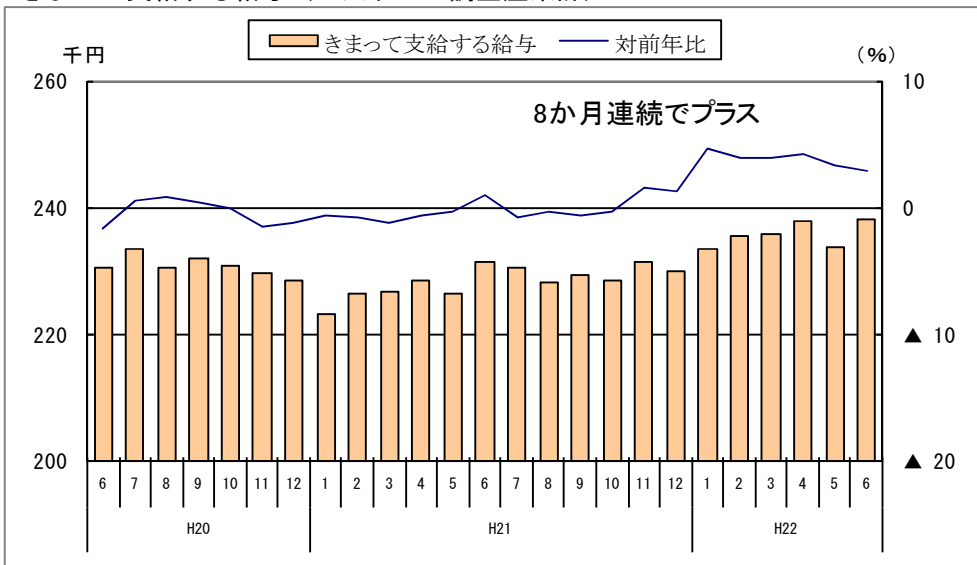
～厳しい状況のなか持ち直しの動き～

現金給与総額（5人以上・調査産業計）



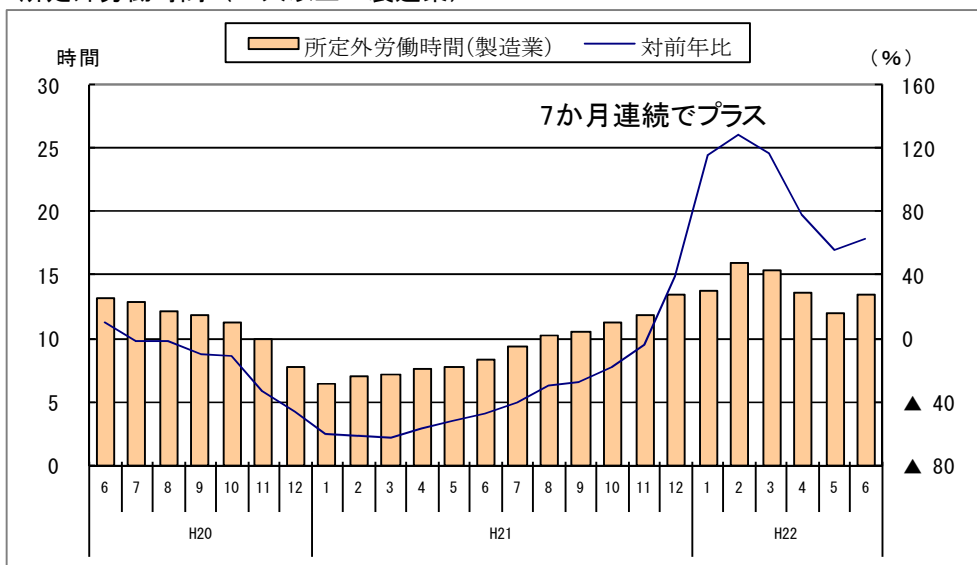
(県統計調査課)

きまって支給する給与（5人以上・調査産業計）



(県統計調査課)

所定外労働時間（5人以上・製造業）

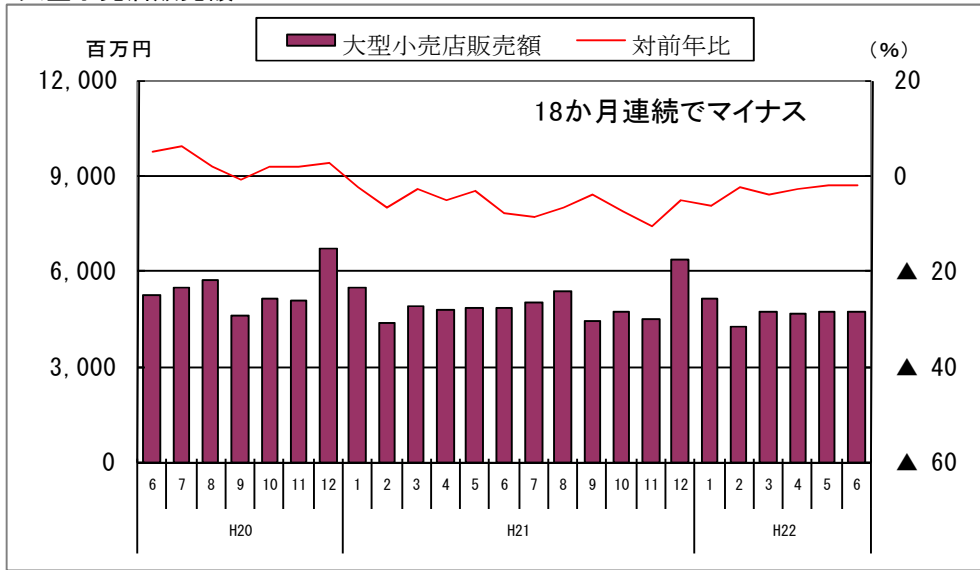


(県統計調査課)

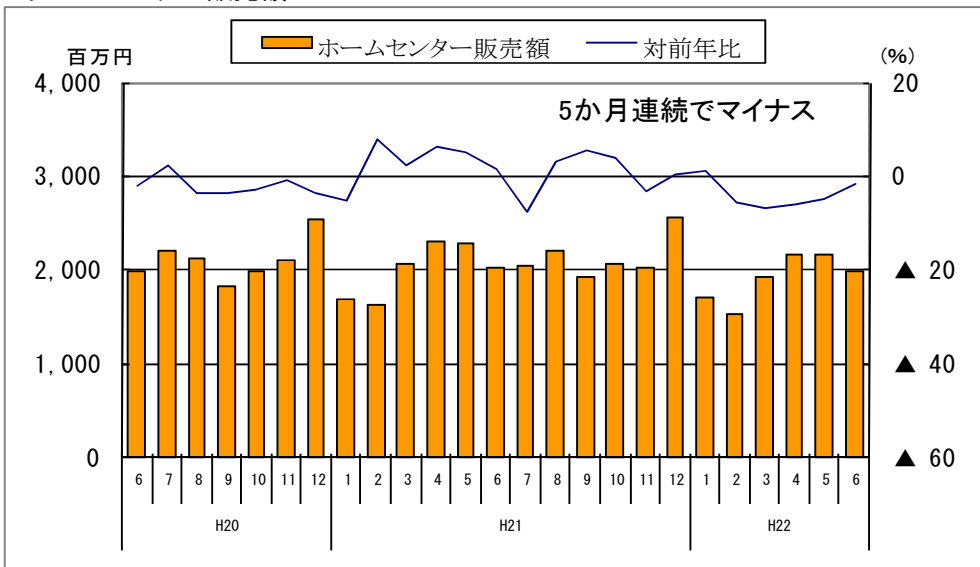
## 【 個人消費 】

～一部に持ち直しの動き～

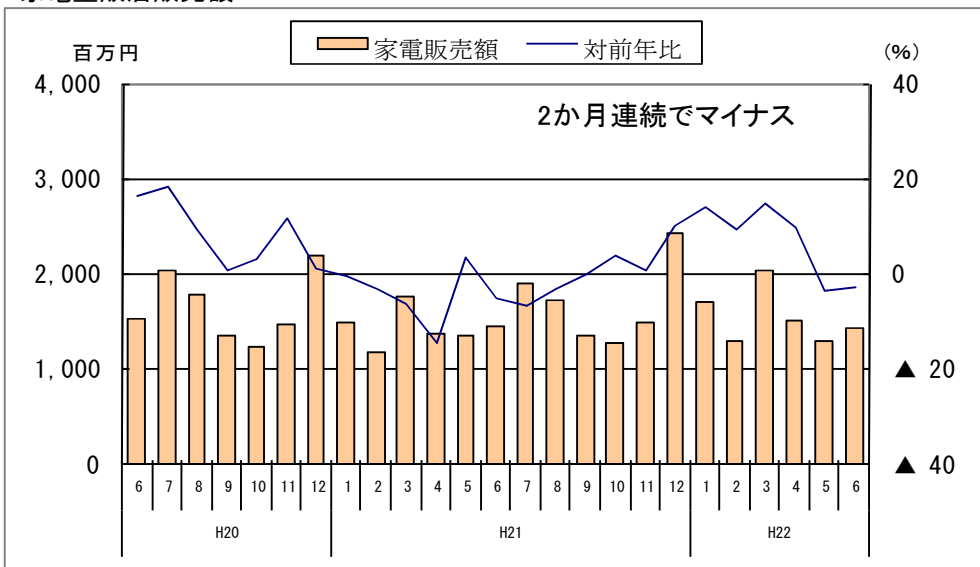
### 大型小売店販売額



### ホームセンター販売額



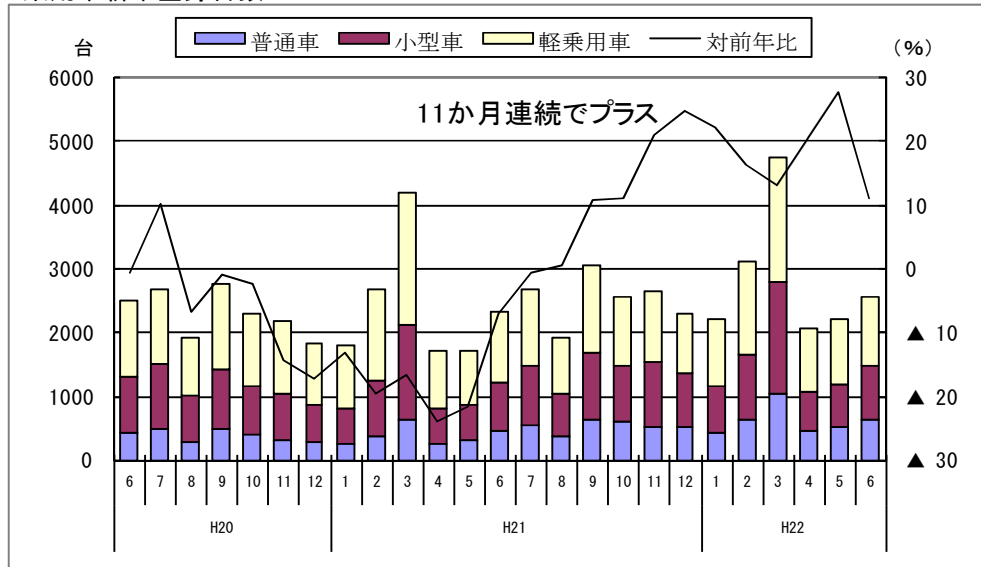
### 家電量販店販売額



## 【 個人消費 】

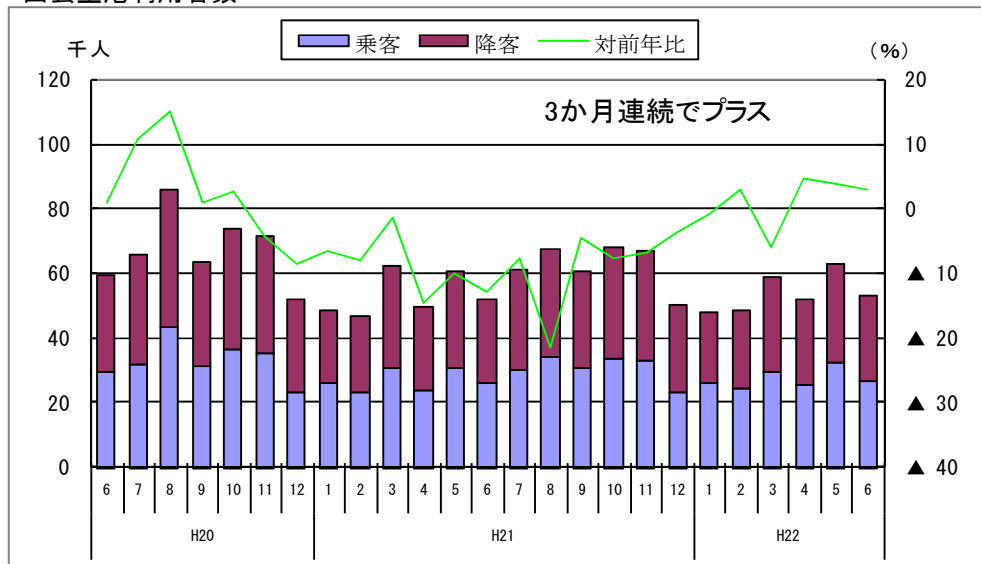
～一部に持ち直しの動き～

乗用車新車登録台数



(中国運輸局)

出雲空港利用者数



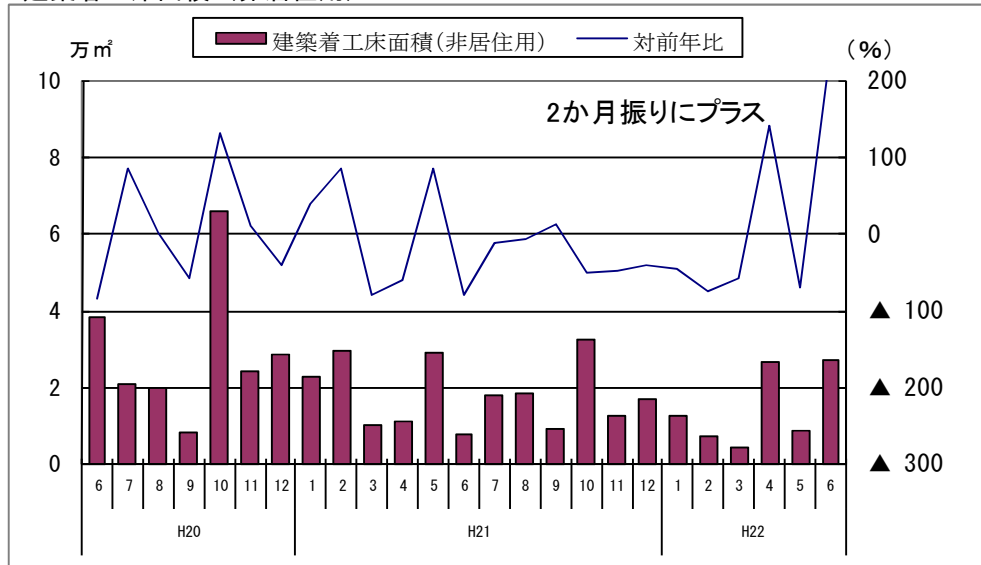
(県港湾空港課)



## 【 投資動向 】

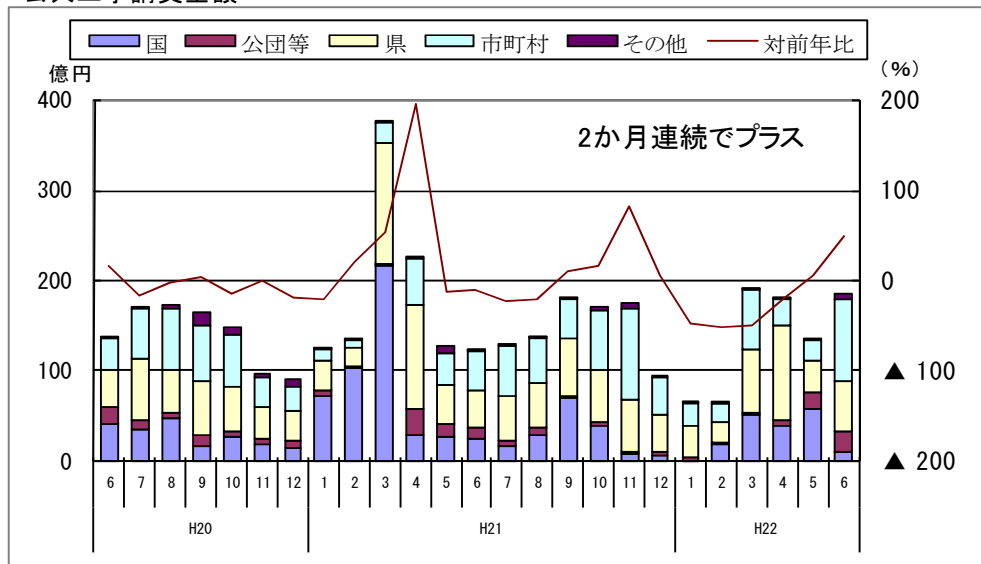
～基調としては弱い動き～

### 建築着工床面積（非居住用）



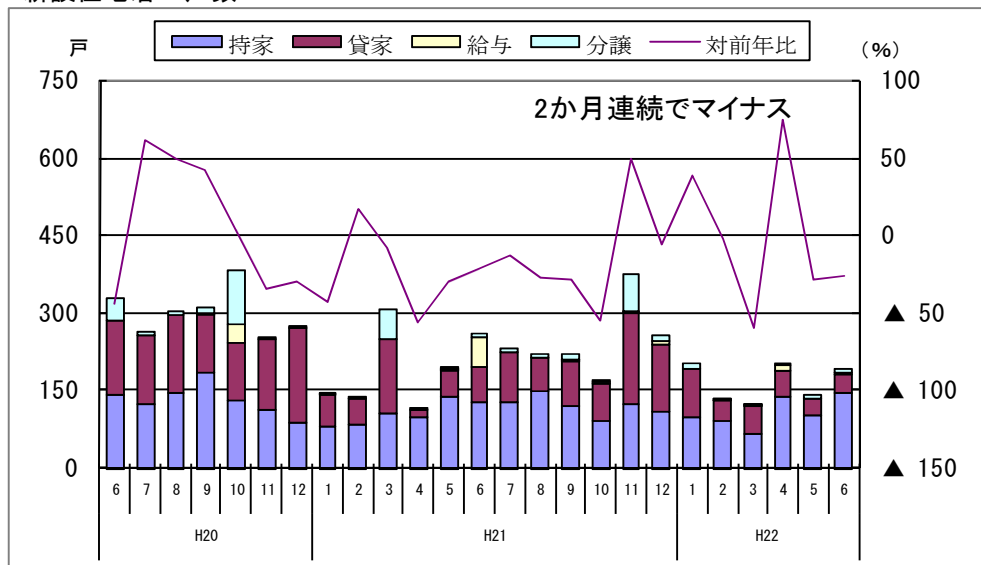
(国土交通省)

### 公共工事請負金額



(西日本建設業保証㈱)

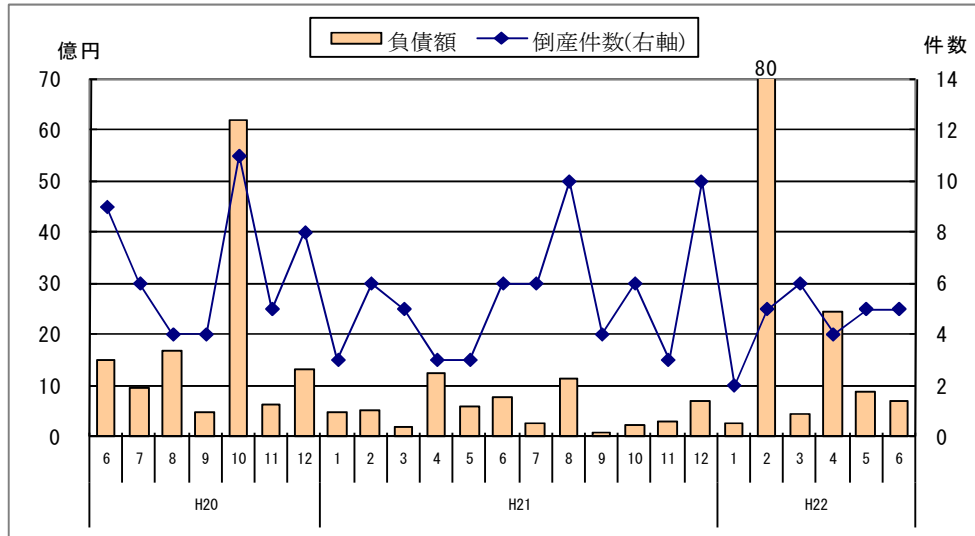
### 新設住宅着工戸数



(国土交通省)

【 企業倒産 】 ～倒産件数5件～

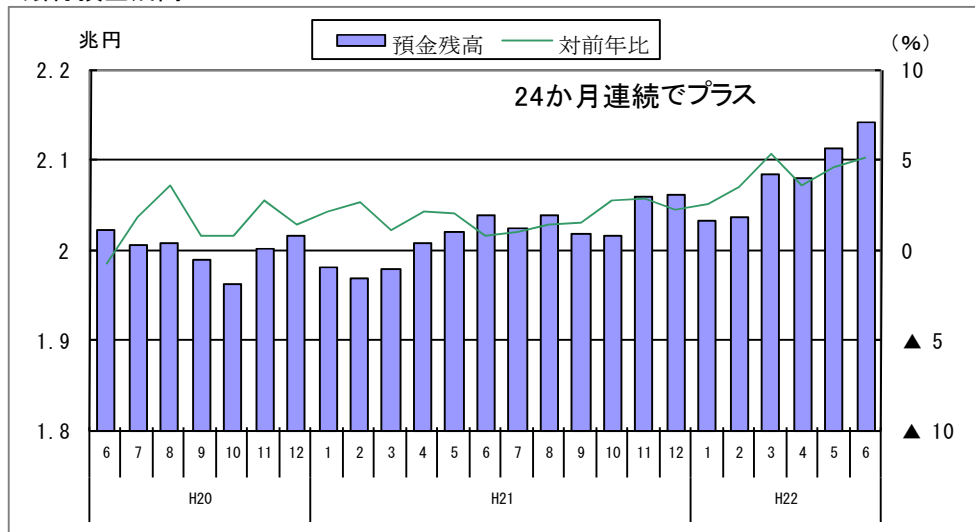
企業倒産件数、負債総額



(株東京商工リサーチ)

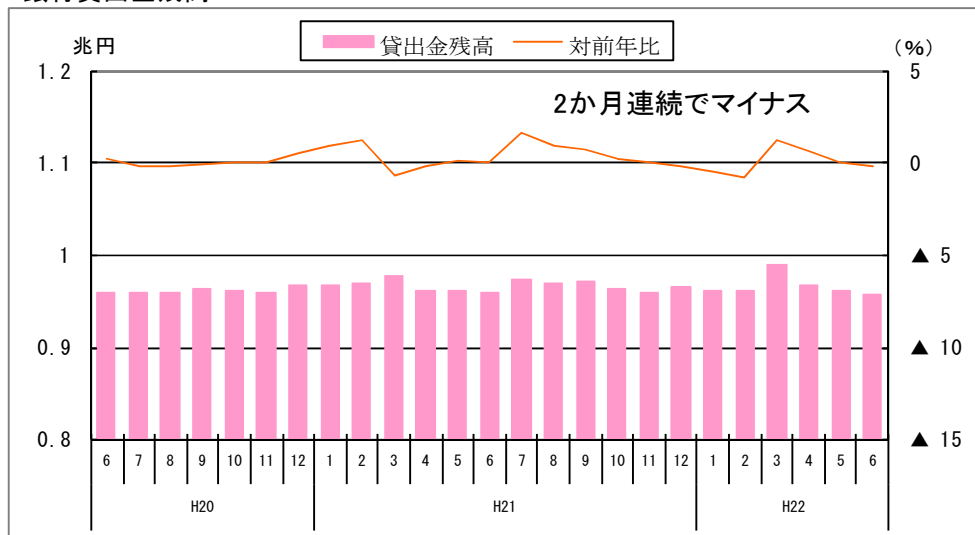
【 金融情勢 】 ～貸出金残高は対前年0.2%減～

銀行預金残高



(日本銀行)

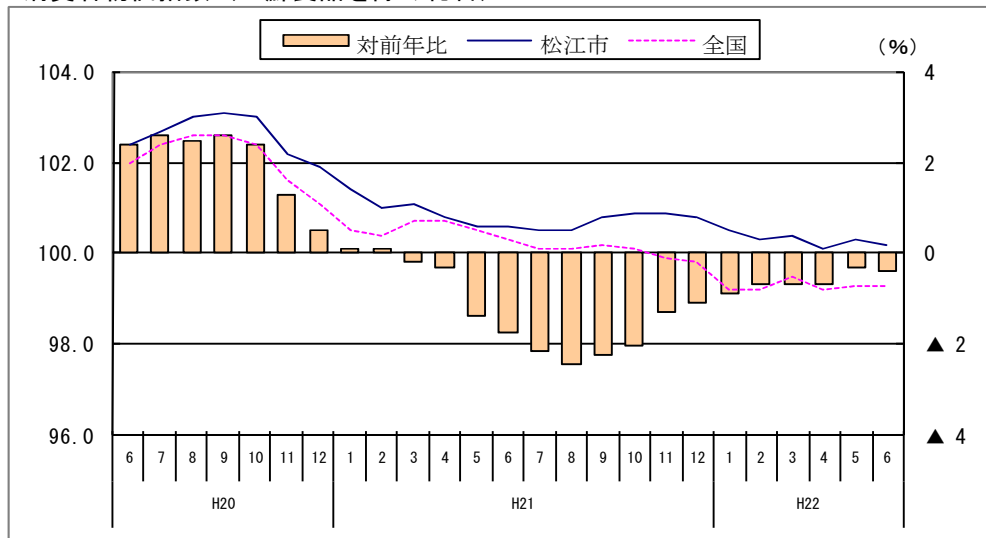
銀行貸出金残高



(日本銀行)

【物 価】 ～対前年0.4%下落～

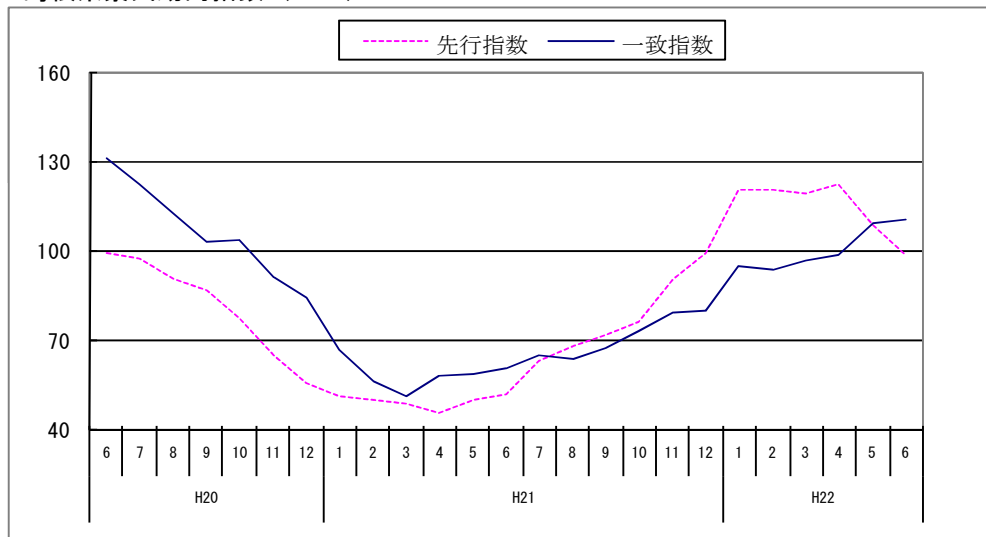
消費者物価指数（生鮮食品を除く総合） H17=100



(総務省統計局)

その他(参考)

島根県景気動向指数 (C I)



(県統計調査課)

法人企業景気予測調査結果 (平成22年6月14日 財務省松江財務事務所)  
平成22年 4～6 月期調査

景況判断BSI

(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)

(%ポイント)

区 分	22年1～3月 前回調査	22年 4～6月 今回調査	22年 7～9月 見 通 し	22年10～12月 見 通 し
全 産 業	▲ 10.1	( 4.0) ▲ 8.6	( 1.0) 1.0	2.9
製 造 業	21.2	( 24.2) ▲ 2.9	( 24.2) 26.5	23.5
非製造業	▲ 25.8	( ▲6.1) ▲ 11.3	( ▲10.6) ▲ 11.3	▲ 7.0
大 企 業	16.7	( 0.0) ▲ 12.5	( ▲16.7) 0.0	12.5
中堅企業	▲ 5.6	( 13.9) 8.1	( 2.8) 5.4	5.4
中小企業	▲ 15.8	( ▲1.8) ▲ 18.3	( 1.8) ▲ 1.7	0.0

※ ( ) 書きは、前回 (22年1～3月期) 調査時の見通し。